

# 平成28年度組織目標(組織名:モノづくり振興課)

## 目標

番号	目標項目	目標設定の理由	目標値等(目標の内容) ※原則として定量的かつより成果を重視したものを設定	目標達成に向けての手段等	基本構想に係る 実施計画の 関連施策	総合戦略に係る 関連プロジェクト
<b>2 中小企業の活性化の推進</b>						
1	[経営基盤の強化に対する支援] 中小企業の新技術開発の促進	県内中小企業者の競争力強化を図るため、活発な技術開発と事業化の加速を行える環境を整備する必要がある。	チャレンジ計画の認定 8件	様々な機会を通じて新技術の開発にチャレンジする中小企業を広く募集し、相談に対しては丁寧に対応していく。	3-1 滋賀の潜在資源を活かした地域産業の育成と海外展開支援	1 ④次世代のための成長産業創出プロジェクト
2	[経営基盤の強化に対する支援] びわ湖環境ビジネスメッセの魅力強化	びわ湖環境ビジネスメッセについて、環境産業のリーディング展示会として出展者数、来場者数の継続的な確保、拡大を図り、商談機会の提供拡大につなげていく必要がある。	会期中における商談件数 29,000件	事務局の企画機能を強化し、出展者や来場者への訴求効果を高めるとともに、主催者コーナーを充実し、「プレ20回大会」としての特別企画を実施する。	3-1 滋賀の潜在資源を活かした地域産業の育成と海外展開支援	1 ④次世代のための成長産業創出プロジェクト
3	[地域資源の活用の促進] 地場産業等地域産業の振興	地域産業の活性化を図るため、地場産業組合等の関係組合の協働により地域特産品の宣伝広告や販売促進のためのネットワークを形成する必要がある。	①関係組合の参画による推進母体の設置 ②地域特産品の統一シンボルマークの策定	滋賀県中小企業団体中央会が持つ組織力を活用し、関係組合に対しネットワークへの参画を呼び掛けていく。	3-2 これからの時代を切り拓くイノベーションの創出	1 ④次世代のための成長産業創出プロジェクト
4	[創業および新事業創出の促進] 滋賀発成長産業の発掘・育成	長引く経済低迷とグローバル競争の激化により国内産業の空洞化を招く中、本県の産業基盤の強化を図るため、新たな成長分野を切り拓き滋賀の経済成長を牽引する滋賀発成長産業(モノづくりメガベンチャー)の発掘・育成を図る必要があるため。	ハンズオン支援※による事業化プランの育成件数 5件  ※ハンズオン支援:企業の情報や経営に深く関与しながら行う支援のこと	技術・知識、経験・ノウハウ、大学・大手企業・金融機関等との幅広いネットワークを有する事業型ベンチャーキャピタル等との協働により、メガベンチャーの創出に必要なハンズオン支援の強化を図る。	3-2 これからの時代を切り拓くイノベーションの創出	1 ④次世代のための成長産業創出プロジェクト

5	<p>[新たな価値や力を生み出す連携の推進]</p> <p>健康創生産業の育成</p>	<p>高齢化の進展に伴う社会課題の解決を図る取組により、新たな市場を創造し、成長の原動力としていくため、医療・健康・介護機器等の研究開発や新たな健康支援サービスの創出を図る必要があるため。</p>	<p>①医療・健康・福祉分野における競争的研究開発資金への応募件数 1件</p> <p>②新たな健康支援サービスの創出件数 1件</p>	<p>①県外の医療機関・企業・大学等も含めたマッチング等を展開し、医工連携による研究開発に向けた取組を支援する。</p> <p>②保健・医療・福祉の現場と民間事業者との連携強化を図り、新たな健康支援サービスの創出に向けた取組を支援する。</p>	<p>3-2 これからの時代を切り拓くイノベーションの創出</p>	<p>1 ④次世代のための成長産業創出プロジェクト</p>
6	<p>[新たな価値や力を生み出す連携の推進]</p> <p>産学官連携コーディネートの実施</p>	<p>県内の中小モノづくり企業が新たな技術や製品等を生み出すイノベーションを起こすためには、産学官の連携を促進する必要があるため。</p>	<p>産学官連携等共同研究体の形成数 6件</p>	<p>県内中小企業と大学や試験研究機関等の産学官連携のコーディネートを図り、産学官共同研究体の構築を支援する。</p>	<p>3-2 これからの時代を切り拓くイノベーションの創出</p>	<p>1 ④次世代のための成長産業創出プロジェクト</p>